

G3-3 チーム主催 PFA 研修会、シンポジウム

日 時：平成 30 年 7 月 5 日(木) 13:00～7 月 6 日(金) 16:45

会 場：英照院(山形県新庄市十日町 764-1)

G3-3 チームにおいて取り組んでいる宗教者による被災者支援の方法の検討のため、山形県曹洞宗第一宗務所青年会の協力を得る形で災害と災害支援に関する講演と参加者によるディスカッション、PFA 研修とその後のシンポジウムという形で 2 日間 2 部構成の研修会、シンポジウムの開催を実施した。

大沼麻実先生には、1 日目に実施の「宗教者による災害支援」の共通テーマのもと、久間泰弘先生、渡邊圭先生による講演後にこの 2 人の話を受ける形で、PFA の専門家としての見地よりコーディネーターとして「自分たちができる支援」のテーマに沿って、参加者の被災地・被災者支援の経験を基にしたディカッションの進行を行って頂いた。



2日目には、大沼麻実先生には別添資料のスライドを用いる形でPFA(サイコロジカルファーストエイド)研修会の講師を務めていただいた。PFA研修会後に実施の2日間を総括するシンポジウム「地域の力のために」において、大沼先生はシンポジストとして発言を頂いた。

○PFA 研修会

PFA 研修会は受講者も参加型のグループワークやロールプレイ等を実施している



○シンポジウム「地域の力のために」

登壇者と参加者がディスカッションを行う形でのシンポジウムを行い、災害時の支援のあり方、宗教者の役割・機能に加え、平時からの宗教者と地域社会のつながりに関する意見が出された。

